

4月から始まった岡山市の事業・仕組みから 気になることもほっとしたこともお伝えくださいな

岡山市では新しく4月から取り組まれた事業や仕組みがあります。私の周りで活用されて、ほっと笑顔があったものを2つお伝えします。

◆里山における危険木の伐採等の費用補助

市内で危険木の伐採による里山林整備、市民の生命・財産保護を行う者に対して、費用の一部を補助するものです。要件（樹高5m以上など）を満たせば、補助率1/2（上限10万円）です。民地の危険木伐採への補助はこれまでありませんでした。この事業第1号に立ち会いましたが、危険を感じておられた皆さんはほっとしておられました（お問合せ：岡山市農林水産課水産林政係 086-803-1345）



◆学校と保護者連絡が岡山市役所公式LINEで可能に

友人から、学校へのこどもの欠席連絡がLINEででき、理由も書き込めるようになって、嬉しい。ちょっとした毎日のしんどさが少しでも楽になってありがたい。との連絡がありました。教育委員会にお聞きすると、保護者の負担感減と教職員の働き方改革をめざして導入をしたということです。



岡山市役所公式LINEから

こんなスポット／「塚前古墳」と「お塚様」

この1月に津島福居で発見された前方後円墳「塚前（つかのまえ）古墳」などについての講座とフィールドワークがあり参加をしました@津島福寿クラブ（4.14）。講師は野崎貴博さん（岡山大学文明動態学研究所）で興味深いお話でした。

「お塚様古墳」があったことは知られており、その天井石6枚で町内のほど近くに「お塚様」（写真）として祀られてきました。「塚前古墳」と並行した北側に「お塚様古墳」があったとのこと。くわしくは岡山大学HPをごらんください。



編集後記★岡山市役所地下食堂はとぎどき期間限定販売のランチを提供。



2月8日～10日は「ふなめし」でした。県南に伝わる「冬の郷土料理」。やさしいお味でした。



のぞみ日誌から

京山公民館で「やさしい日本語講座」(1.21)

日本語が十分ではない外国人等に、日本語を易しい言葉で、優しい気持ちで伝えるのが「やさしい日本語」。互いに分かりあおうというやさしい気持ちに包まれていました。講師は中東晴恵さん（岡山大学教員）。外国ルーツの方も年齢も多彩でした。また参加したいです。



「地域に支え合いの花を咲かせよう」(2.3)

津島地区社会福祉協議会で、「旭竜助け合い隊」の話を聞きました。学区住民の日常生活の困りごとを学区住民の皆さんで支援する仕組みです。2022年度多い順番に、ごみ出し、家事手伝い、買い物…だそうです。多くのご参加で関心の高さを感じました。



市長に要望書「児童虐待死が起きないように」(2.9)

児童虐待で亡くなる子どもを2度と作らないためには、DVの視点が必要。「DV防止サポートシステムをつなぐ会・岡山」から大森市長に要望書を提出しました。市民と超党派の女性議員がメンバーの会ですが、この要望には、子どもや女性に係る幅広い団体・個人の皆さんからも賛同をいただきました。



国際女性デー企画／千田悦子さん（元 UNHCR 職員）の語に感銘 (3.5)

「女性の視点から見る世界の現状、私たちが今できること」@大学女性協会岡山支部、岡山市市民協働事業。アチコチの紛争地での活動を通して発せられた言葉は「闘いではなく、平和が命を守ること」「女性たちよ。人類最大の分岐点の今、生き抜く力と見抜く力」をと。



おかやま文学フェスティバル (2.25～3.12)

少ししか参加できませんでしたが、岡山はもちろん全国からステキな出版社・書店などが集まり、ワクワクするイベントが目白押しでした。元気をいただきました。



岡山市議会議員

会派：みらいえ

No.64

2023年2月議会報告

おにきのぞみ

虹色通信

2023年5月発行



事務所 〒700-0971 岡山市北区野田5丁目8-11 かつらぎ野田ビル2F
TEL 086-244-7721 FAX 086-244-7724
自宅 岡山市北区津島福居2-16-12-2 TEL/FAX 086-254-5262
e-mail:info@midori-okayama.org https://blog.goo.ne.jp/niji_oni



議場の風景が変わりつつある全国自治体 女性議員躍進への兆し、多様な生活者の声を反映

2023年5月1日、岡山市議会議員として5期目の活動がスタートし、改選後はじめての市議会協議会が開かれました。定数46人のなか新人が12人（20代3人、30代2人）ですので、議場全体にフレッシュな風を感じ、期待とともに、私自身も気持ちを新たにしました。女性議員ははじめて全区から選出され、1人増えて7人です（15%）。

選挙にいったら政治（生活）がかわる実感

岡山県議会では女性割合が2割を超え、全国的には、女性議員躍進へのスタートを感じる統一地方選挙でした。千葉県白井市、兵庫県宝塚市、東京都杉並区、埼玉県三方町の4市区町で、女性の当選者が半数を超えました。議場の風景が変わると議会や市政が変わります。

杉並区では、岸本聡子区長を先頭に区民の皆さんが「投票率アップ」の行動を行い、4.19%アップ（約22000票）を果たしました。

「選挙にいったら政治（生活）が変わる」という実感は次につながります。

投票率37.29%と過去最低を更新した岡山市。私たち議員には市民の皆さんの思いを誠実に受けとめる更なる努力と工夫が必要です。

グリーン岡山の実現

4期目最後の2月議会に、私は「無所属クラブ」の代表質問を行いました。その一つが、新庁舎建設にあたって、大供公園を囲んでいた高木等が伐採されたことです。

市民の方から悲鳴にも近いご意見をいただき、気づかなかった私も猛反省。市有施設の



元大供公園。担当課自体は検討・協議をし、市庁舎建設に直接関係しない南西部分を「陽だまりの広場」として、高木を残します（写真左上）。

木の伐採にあたっての基準づくりをすべきだと質しました。大森市長は、対応策を検討すると。ESD都市を目指す岡山としては、樹木の移植保存という道を選択し、次世代に伝えるべきではなかったかと悔やまれます。（詳細は中面に）。

おにき・のぞみ

2月議会 代表質問から

今回とりあげた項目

1. 安心と活力ある暮らしに向けての区づくり
2. 岡山市をエネルギー先進都市に
3. グリーン岡山の実現
4. ゲノム編集トマト
5. 市民の生活を守る交通手段の確保
6. 性的マイノリティの皆さんとともに
7. 福祉文化会館地下1階の障害者センター
8. 公立夜間中学
9. 多文化共生 ～日本語教室～
10. 男女共同参画 ～ユースクリニックなど～



2023 年度当初予算を審議する 2 月議会。岡山市役所本庁舎建替整備のための費用約 21 億円余など、予算は過去最高額です。気になっていた子ども医療費助成制度は拡充（通院医療費は、小学生が無料、中学生と高校生年代は 1 割負担に。入院はどの年代も無料に。2024 年 1 月からの予定）。国保料は 4 年連続で据え置き。児童虐待で亡くなった子どもの検証報告を受けて児童虐待防止推進にむけての予算等が組まれました。

1 安心と活力ある区づくりにむけて

各区独自のとりくみで、区のまちづくり、地域の絆づくりを進める

Q 区役所の役割として、新たに取組もうとしている、*市民に身近なサービスの提供、*区のまちづくり・地域のきずなづくりについてお伝えください。

市長 市民の利便性向上にむけて、新たに区役所でできる手続きとして、防犯カメラや特殊詐欺等対策電話機設置の補助申請受付、自主防災組織の結成届や助成金申請、放課後児童クラブ入所申請の受付の取り次ぎなどです。

北区長 北区役所では、公民館等で地域課題解決に向けたワークショップを開催し、地域住民と協働しながらとりくみたい。

区役所で待つのではなく、地域に出かけていく区役所を期待しています。

2 岡山市をエネルギー先進都市へ

地球温暖化防止にむけ、「ゼロカーボン推進課」を設置して力をいれる

Q 岡山市は、2030 年度に温室効果ガス排出量を 2013 年度比で 46%減としています。そのためにはギアアップが必要

です。東京都はこの 12 月に全国初の「太陽光義務化条例」を策定。また都有施設の太陽光パネル設置を現状の 3 倍にするために、設置可能なすべての都有施設に整備しようとしています。岡山市の市有施設でも可能な限り取り組むべではありませんか。実施にむけての庁内体制充実、どうしますか？

環境局長 市有施設への太陽光パネル設置を本気で進めていく必要があり、そのように行動したい。脱炭素社会の実現を積極的に推進するために、課内室から、「ゼロカーボン推進課」を設置します。

3 グリーン岡山の実現

市有施設の高木、また市民にとって重要な緑。対応策を検討したい

岡山市では、快適な環境づくりや美観風致維持のために保存樹を指定しています。日常的な管理は所有者が行い、市は樹勢の衰えや損傷が見られた場合の樹木医の派遣や治療費用の助成だけです。

Q 他の政令市では、樹木賠償責任保険という事故が起きたときの保険には多くが入り、剪定費用についての助成、災害があつて危険になったときの剪定費用、毎年の報償費を支払っている自治体もあ

◆大供公園の高木と市庁舎南側のカイノキ

○大供公園には 8 m 以上の高木が全部で 41 本。うち 31 本を伐採し、「陽だまりの広場」として 10 本を残しています。

○市庁舎南側にあり紅葉が素晴らしかったカイノキ 2 本。系統を残すということで、挿し木として約 20 本取った上で伐採をしています。挿し木が根付いた暁には、敷地に植えるなどを検討しておられます。



担当課は高木の伐採には躊躇があり、費用面も含めて検討をしたとのこと。全庁的な考え方や基準作りが必要です。

ります。保存樹は日々の管理が大変です。支援の見直しが必要ではないですか。

市長 対応を検討したいと思います。

8 公立夜間中学

授業体験会でのヒアリング等で、「食事の在り方」を検討したい

Q 設置基本方針案へのパブリックコメントで意見が最も多かったのが「実施しない」とある学校給食についてでした。

札幌市では外部のお弁当を学校給食に準ずる給食として提供をしています。夜間中学体験会等にこられている当事者の方にヒアリングをされ、さらに検討を続けたらいかがでしょうか。

教育長 学校給食については考えていないが、授業体験会でのヒアリング等を通じて、実態に即してよりよい食事の在り方について検討をしてまいりたい。

入学時期については、「4 月入学を基本とする。随時入学も可能とするが、詳細は今後検討」と最終的になりました。

9 多文化共生～日本語教室～

秋ごろには、新しい形の日本語教室を開始したい

Q 2023 年度、岡山市は「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」（文化庁）にとりくみます。この事業は、日本語教育を通して生活者としての外国人を私たちの暮らしのなかに受入れ、多文化共生社会をつくることにあります。事業内容などについてお伝えください。

市民協働局長 新年度の早い時期に総合調整会議（岡山市をはじめ、大学、日本語教育機関、外国人市民代表など）の立上げや総括コーディネーターの配置を行うとともに、秋ごろには新しい形の日本語教室を開始したいと考えています。

事業を楽しみにしています。くわしく書くことができませんが、文化庁 HP から事業をごらんください。

10 男女共同参画～ユースクリニック～

10 代 20 代の若者が、包括的性教育の考え方を身につけることが重要

Q 2023 年度当初予算の新規事業として、「3 丁目ユースクリニック」開設があり、歓迎をしています。なぜ若者がターゲットですか。包括的性教育の考え方を元に

▽△ 2 月議会の陳情から △▽

原発の運転期間「原則 40 年」の延長方針の撤回を求める意見書を提出してほしいとの陳情は、自民党・公明党・創政会などの反対で、残念ながら不採択になりました。私はもちろん賛成です。

△▽ 委員会の発言時間までも短縮 △▽

2 月の岡山市議会・議会運営委員会（議員自ら）、本会議につづき、改選後 5 月からの委員会においても、質問時間を削減することで申送ることになりました。委員会は議案などの数や内容で議論の時間が変化するにもかかわらず、一律に時間枠をはめるのは不合理であり、十分に議論できないことが目に浮かびます。

行う理由についても教えてください。

市民協働局長 中高生への調査結果から、正しい知識をもち、相談相手がいらない若者層が多いことがわかりました。

若者は社会的にも、心も体も未熟な段階にあることから、思春期の時期を中心に自分も相手も大切にできるような包括的性教育の考え方を身につけることが重要だと考えています。



岡山市 HP より

◆三宅泰司教育長に要望／「ゲノム編集トマト」を受け取らないで

ゲノム編集とは聞きなれない言葉ですが、ゲノムを構成する DNA を切断して遺伝子を置き換える技術で、遺伝子組み換え食品と同等もしくは、それ以上の危険性を指摘する研究者がいます。トマトの場合は、この技術で GABA 含有量を高め、開発・販売会社は、このトマトの苗



を守るため、受け取らないでほしい」という要望が寄せられ、現時点（5.7）で 304 自治体が受け取らないと回答をし、受け取る自治体はゼロです。

2.3 に「グリーンコープ生協おかやま」と市民の皆さんが、三宅泰司岡山市教育委員会教育長に要望書を手渡し、教育長は「受け取りません」と明言されました。